

商業科「ビジネス経済」授業実践紹介

授業者:赤畠 真一

学 年:3年 キャリア探求科

単元名:金融

本単元のねらい(7つのチカラ:考えるチカラ、自立するチカラ)

- ① 金融の特徴と貨幣の役割について理解する。
- ② 日本銀行の役割と金融政策の内容について考える。
- ③ 預金通貨の内容と信用創造のしくみについて理解する。

単元の流れ(5時間)とパフォーマンス課題(2時間+家庭学習)

- ① 金融資産にはいくつかの種類があることを確認する。
- ② 欧米諸国と日本との金融取引における相違点を理解する。
- ③ 貨幣の持つ役割について確認する。
- ④ 日本銀行の性質について、三つの役割をもとに理解する。
- ⑤ マネーストックの内容と分類について理解する。
- ⑥ 準備預金制度の必要性と役割について理解する。
- ⑦ 信用創造の過程を理解する。
- ⑧ 日銀が金融政策を行うことを知る。

【パフォーマンス課題】

上記単元の流れ①から⑧の項目の中から一つを選び、まわりの人に用語の解説や探究における理論的な解説を交えながらかつ、具体的な事例にも触れながら説明する。



⑦の例

X 銀行は、手元の現金だけを貸し出すわけではありません。AさんとBさんがそれぞれ500万円ずつ預金したとします。X 銀行は AさんとBさんから合計1000万円を預かったこととなります。そこで、X 銀行は「現金を引き出すお客さんのために預金の10%(100万円)を残して900万円を貸したそう」と考えました。

* 預金者から預かった現金を「本源的預金」といいます。銀行はこの預金から現金を引き出すお客さんに備えて、一定額を手元に残し(「準備預金」)残額を貸し付けにまわします。

次に、X 銀行は、取引のある Cさんに店舗拡充のために900万円を貸し付けました。ここで、X 銀行では預金1000万円と貸付金900万円で預金口座の合計は1900万円になったこととなります。そこでまた、X 銀行は、「Cさんからの900万円のうち90万円を準備預金にして、あとの810万円はまた貸し付けにしよう」と考えました。

* 貸し付けは相手(ここでは Cさん)の口座に入金することなので、銀行の口座預金は見せかけ上増えます。

さらに X 銀行は取引のある鉄工所の経営者 Dさんに工場改築のため810を貸し付けます。ここまでで、AさんとBさんの預金現金1000万円とCさんDさんの貸付金1710万円となります。Dさんの810万円の10%(81万円)を準備預金として残すと合計は100万円+90万円+81万円=271万円となり元々の1000万円のうち729万円が貸し付けに回ったこととなります。これが繰り返され、結果として元の何倍もの貸し付け行われていきます。これを信用創造と呼んでいます。

単元を通して身につけてほしいこと

金融市場における直接金融と間接金融について理解して、それぞれの長所と短所並びに我が国の金融市場での歴史的な流れを理解してほしい。また、貨幣については、一般的な交換手段、価値尺度、価値貯蔵手段という三つの側面から理解を深め、これから先の社会生活に活かしてほしい。

パフォーマンス課題の評価

	A(素晴らしい) 五点	B(合格) 三点	C(改善が必要) 一点
研究報告書 (探究)	テーマに沿ってよく調べられており、必要な情報が豊富に盛り込まれ、説得力のある提案ができています。	テーマに沿ってよく調べられており、必要な情報が盛り込まれ、具体的で概ね説得力のある提案ができています。	テーマに沿って調べているが、必要な情報が不十分なため根拠不足で、説得力のある提案になっていない。
研究報告書 (理論)	教科書の理論的内容について、他者がわかりやすいようにまとめられており、事例を交えながら研究されている。	教科書の理論的内容についてよくまとめられており、事例に触れている。	教科書の理論的内容について必要な情報が不十分なためまとまっていない。
関心 意欲 態度	課題についてよく理解・把握し、研究活動を行うことができている。	課題について理解し、自らの考えに基づき活動ができている。	積極的に参加しようとしていない。

評価

- ① 定期考査による評価(50%)
- ② 単元ごとの OPP シート+授業プリント+重要用語まとめプリント(10%)
- ③ パフォーマンス課題に対する教員評価(20%)
- ④ パフォーマンス課題に対する本人評価(10%)
- ⑤ パフォーマンス課題発表時の生徒間相互評価(10%)